



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「キウイフルーツの収穫量」と「さざえの漁獲量」です。



キウイフルーツの収穫量

検索 



さざえの漁獲量

検索 



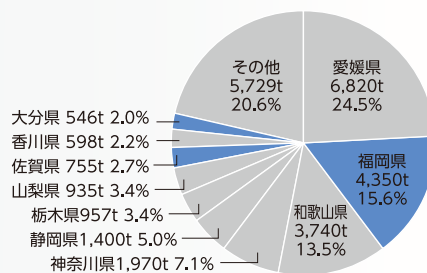
🥝 キウイフルーツの収穫量

キウイフルーツというと、ニュージーランド等からの輸入フルーツというイメージが強いですが、日本国内で流通するキウイフルーツのうち約25%は国内産のものが占めており、特に12月から4月にかけては国産品が店頭によく並んでいます。その国産キウイフルーツの収穫量を都道府県別に見てみると、福岡県が愛媛県に次ぐ第2位(15.6%)となっています。なお、収穫量が上位の産地はほぼ「みかん」の産地と重なっていますが、これは1970年代に行われた柑橘類の輸入自由化により生産過剰に陥ったみかんに代わる品目として、同じ温暖な地域で栽培されるキウイフルーツの栽培が広まったためです。

キウイフルーツは、福岡県内でも特に県南地区での生産が盛んで、専用の追熟庫で追熟(※)したキウイフルーツを「博多甘熟娘」「博多甘香」等のブランド名で出荷しています。また昨年には、約7年をかけて品種改良を重ねた、高糖度で大玉の新品種「甘うい」の出荷をはじめると、他県産との差別化も進めています。

(※追熟:果物などを収穫後に一定期間貯蔵して、甘さを増したり果肉をやわらかくする処理のこと)

キウイフルーツの収穫量



(出所:農林水産省統計「平成27年産果樹生産出荷統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



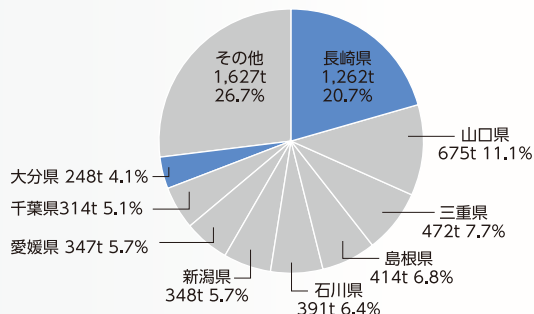
さざえの漁獲量

春から初夏にかけて旬を迎えるさざえは、コリコリとした食感と独特の磯の香りが人気で、つば焼きや刺身で親しまれています。そのさざえの漁獲量を都道府県別に見てみると、長崎県が全国1位となっており、国内漁獲量の約2割を占めています。

豊かな漁場で育まれている長崎県産さざえは、対馬海流等の速い潮流に流されないように岩にしっかりと張り付いていることから、ごつごつとした角が発達するとともに、引き締まった美味しいさざえとなります。

美味しさに加え、肝機能を高めるタウリンや、疲労回復に欠かせないビタミンB1等の栄養分も豊富なさざえは、長崎県の複数の市町村で「ふるさと納税」のお礼の品として取り扱われる等、長崎を代表する特産品の一つとなっています。

さざえの漁獲量



(出所:農林水産省「平成27年漁業・養殖業生産統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直している

福岡県の景気は、生産活動において持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても底堅い状況にある等、総じてみると持ち直しています。

生産活動は、北米や中国向けの乗用車受注が好調だった輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設及び公共工事も2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

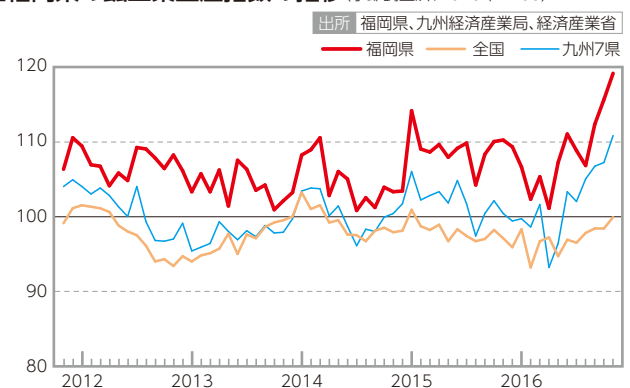
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は119.1と前月比3.0%上昇しました。

北米や中国向けの乗用車受注が好調だった輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.8%減の747億円となりました。

主力の衣料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



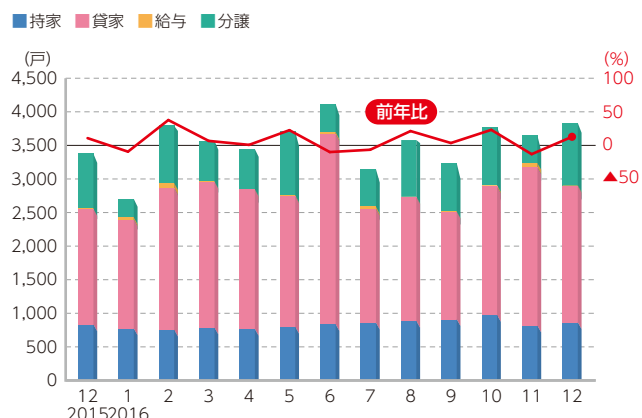
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.4%増の3,861戸となりました。

「分譲(戸建)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



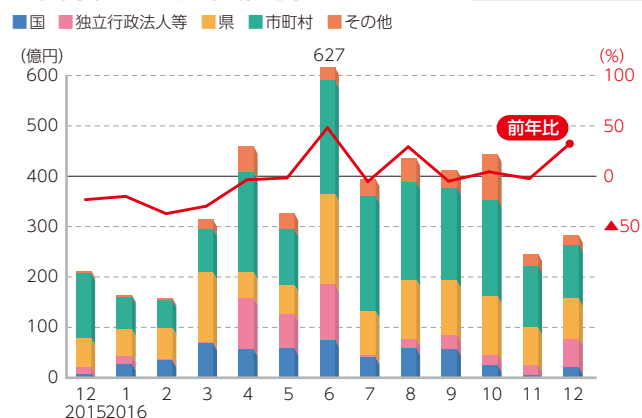
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.2%減の812件、金額が同33.3%増の288億円となりました。

発注者別では、賃貸住宅建設工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、河川工事があった「県」等が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比12.5%減の28件、負債総額は同27.9%減の約35億円となりました。

医療業で16億円の大型倒産が発生したほか、飲食業で4億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復している

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復しています。

生産活動は、集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、回復の動きが続いており、個人消費についても、地震からの復興需要等を背景に持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事も復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

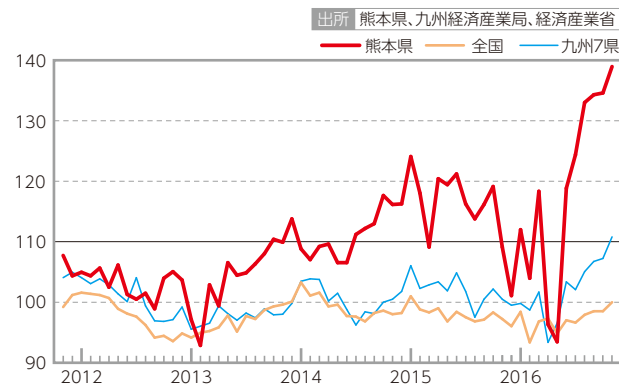
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 回復の動きが続いている

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は139.2と前月比3.3%上昇しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、輸送機械が上昇する等、熊本地震からの挽回生産をはじめとした復興関連の動き等を背景に、生産は回復の動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.3%増の193億円となりました。

熊本地震からの復興需要等を背景に、主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



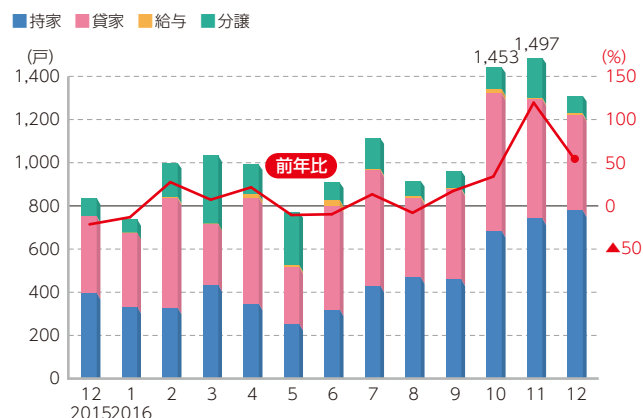
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比56.4%増の1,320戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



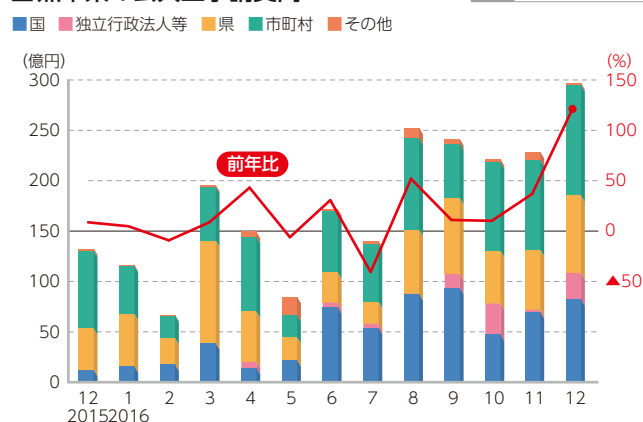
4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.4%増の791件、金額が同124.0%増の299億円となりました。

ダム建設工事の大型案件があった「国」や、高速道路震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」等が前年を上回り、全体でも5ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



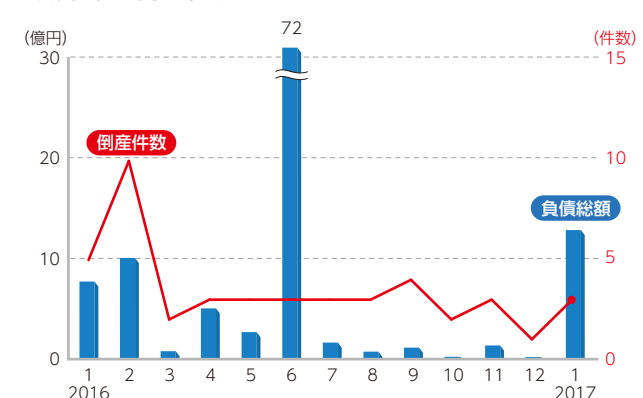
5.企業倒産 | 7ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額は同66.3%増の約13億円となりました。

飲料製造業で約13億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、個人消費が弱いものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでいます。一方で、生産活動は修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

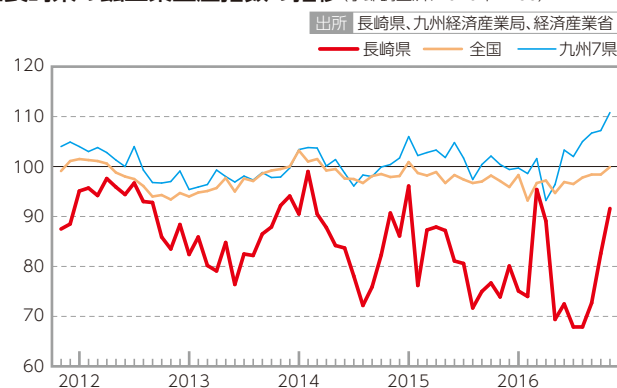
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.6と前月比10.9%上昇しました。

主要業種では、修繕船が増産となった輸送機械や、シリコンウエハの生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

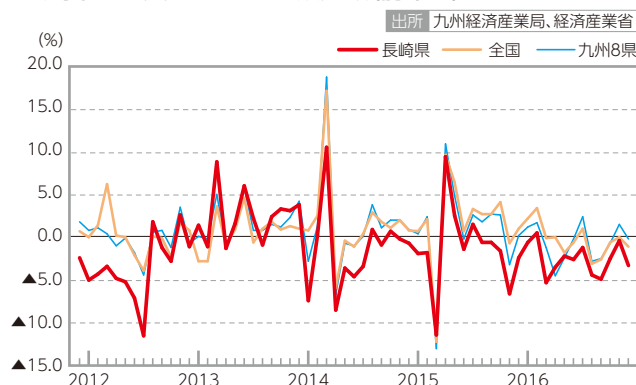


2. 個人消費 | 弱含んでいる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.4%減の119億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





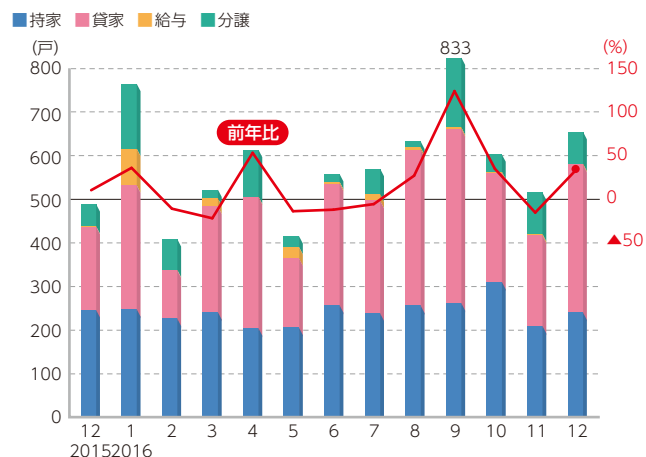
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比34.1%増の661戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



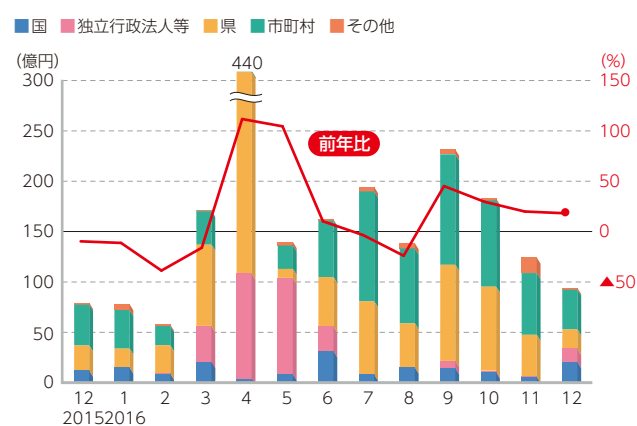
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同数の397件、金額が同18.5%増の96億円となりました。

発注者別では、官舎建築工事があった「国」と、トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



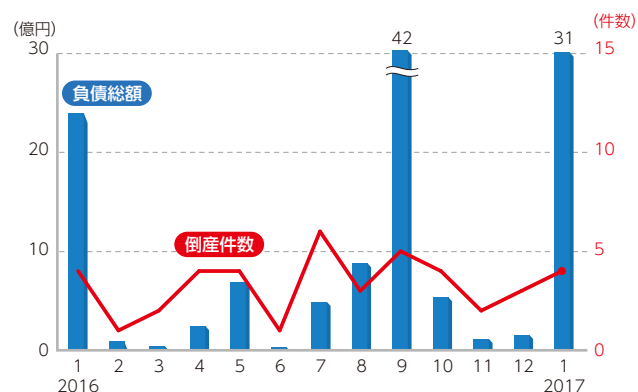
5.企業倒産 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の4件、負債総額は前年同月比29.5%増の約31億円となりました。

スーパーで約30億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられるほか、公共工事についても3ヵ月連続で前年を下回りました。一方で、生産活動は変圧器が増産となった電気機械器具が上昇する等、底堅く推移しており、住宅建設についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

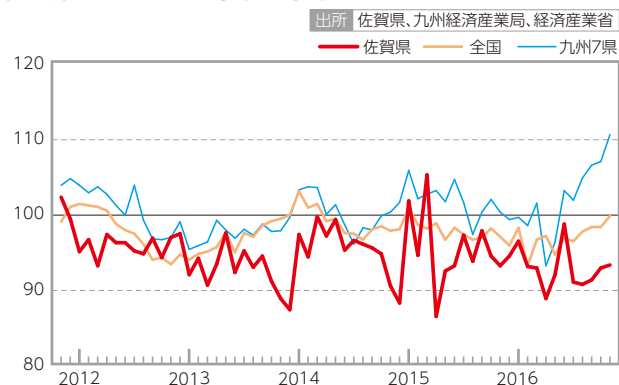
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.3と前月比0.4%上昇しました。

主要業種では、金属工作機械や金型が減産となった一般機械は低下したものの、変圧器の生産が増加した電気機械器具が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

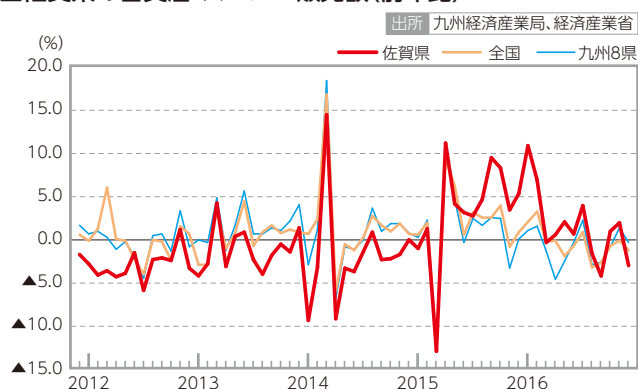


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.0%減の70億円となりました。

主力の衣料品が振るわなかった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





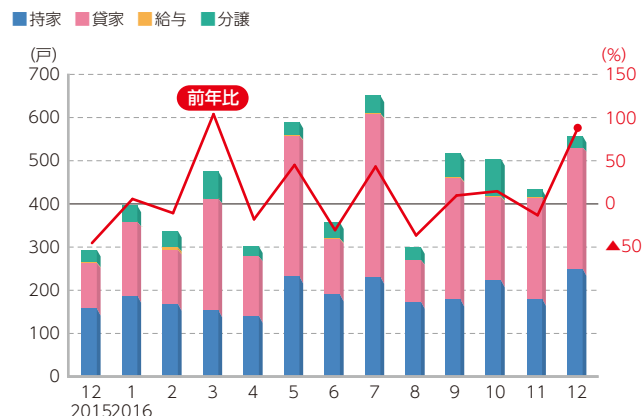
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比89.9%増の562戸となりました。

「給与」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



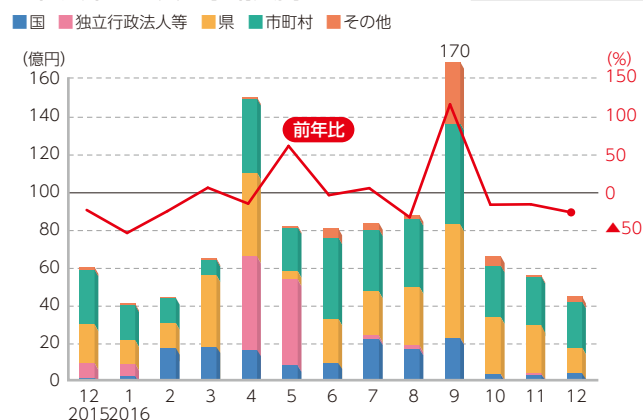
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.0%減の222件、金額が同26.4%減の45億円となりました。

発注者別では、橋補修工事があった「国」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



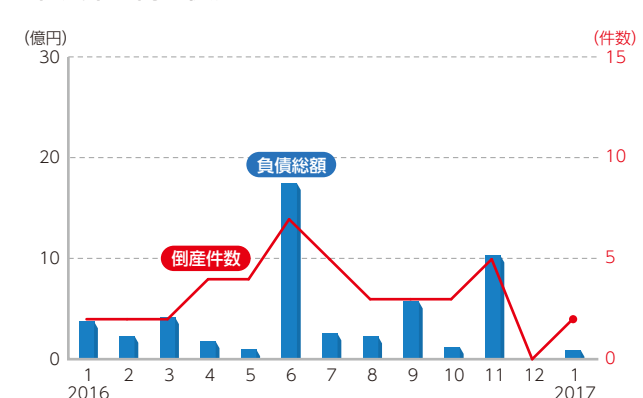
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の2件、負債総額は前年同月比76.2%減の9千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は、電気照明器具が増産となった電気・情報通信機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

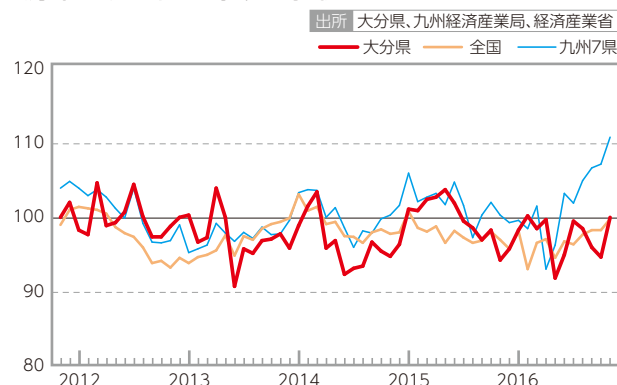
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.1と前月比5.6%上昇しました。

主要業種では、電気照明器具が増産となった電気・情報通信機械や、セメントの生産が増加した窯業・土石製品が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

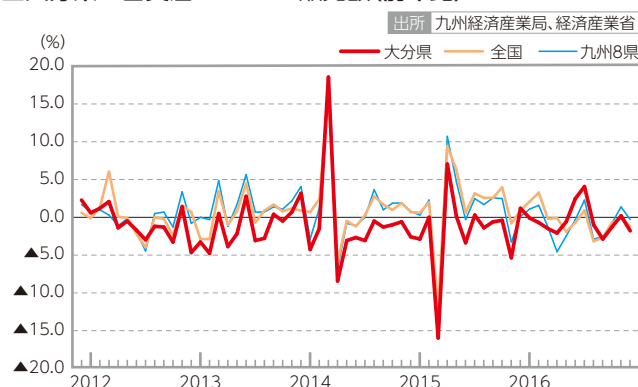


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.8%減の126億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





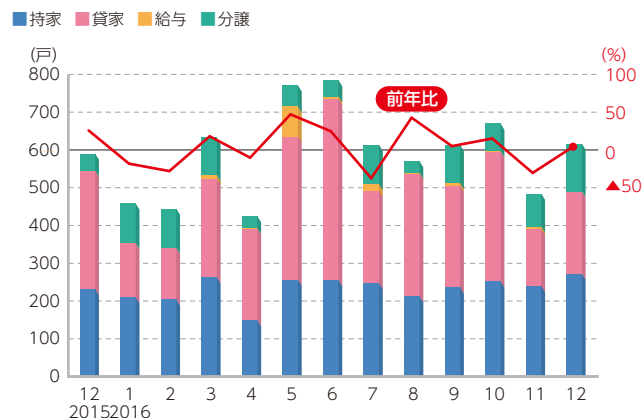
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.5%増の622戸となりました。

「貸家」「給与」が前年を下回ったものの、「持家」「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



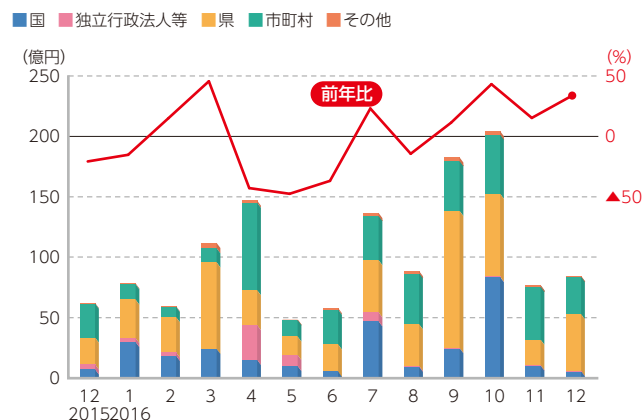
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比12.9%増の421件、金額が同35.1%増の85億円となりました。

発注者別では、トンネル工事の大型案件があった「県」と、資料館建設工事があった「市町村」が前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



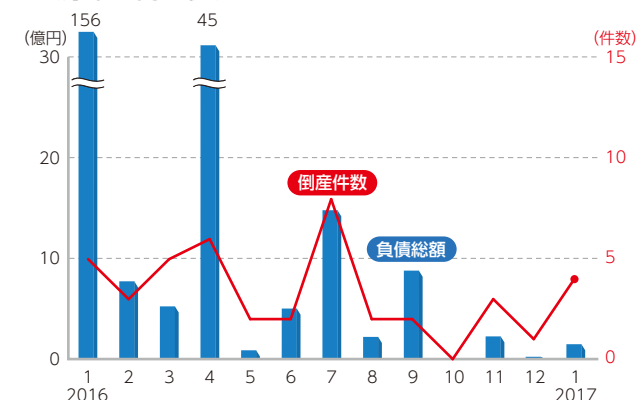
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%減の4件、負債総額は同99.0%減の約2億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、生産活動が底堅く推移しているものの、個人消費は弱い状況にある等、総じてみると弱含みの兆しがみられます。

生産活動は鉄鋼・金属製品が上昇する等、底堅く推移しており、住宅建設及び公共工事についても前年を上回りました。一方で、個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでいます。

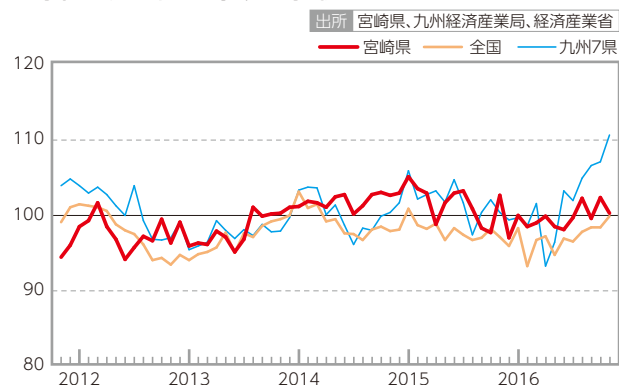
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.3と前月比2.1%低下しました。

主要業種では、電子部品・デバイスが低下したものの、鉄鋼・金属製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

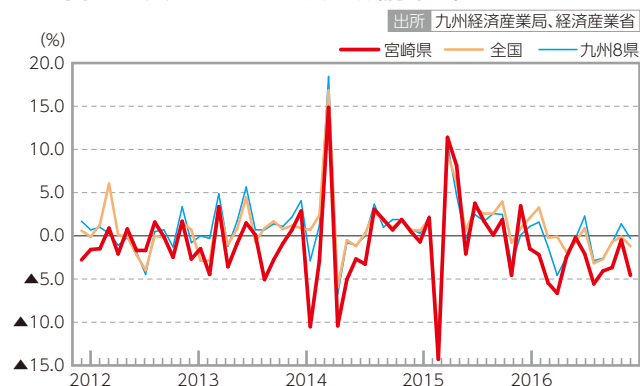


2. 個人消費 | 弱含んでいる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.5%減の84億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品に動きがみられたものの、主力の衣料品が前年を大きく下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



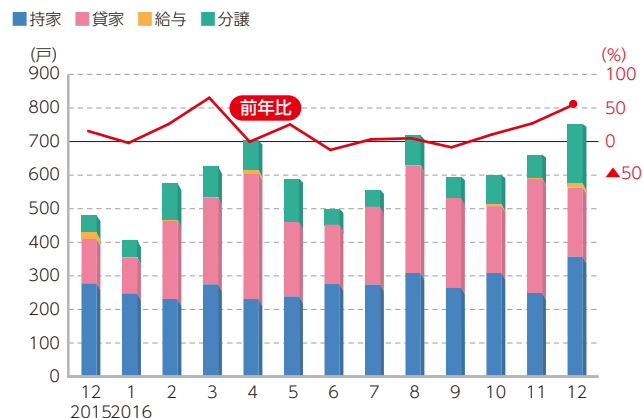
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比56.9%増の758戸となりました。

「給与」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



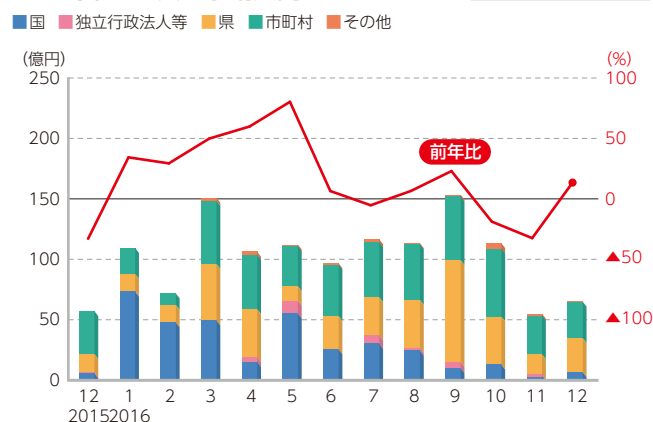
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.8%増の448件、金額が同13.7%増の65億円となりました。

大型案件には乏しかったものの、発注者別では、「国」「県」「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



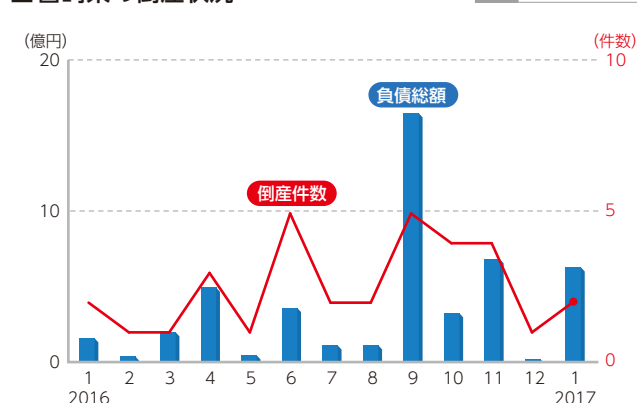
5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の2件、負債総額は約6億円となりました。

フィットネスクラブで約6億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

住宅建設及び公共工事が前年を下回ったほか、個人消費についても、主力の飲食料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動ははん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しています。

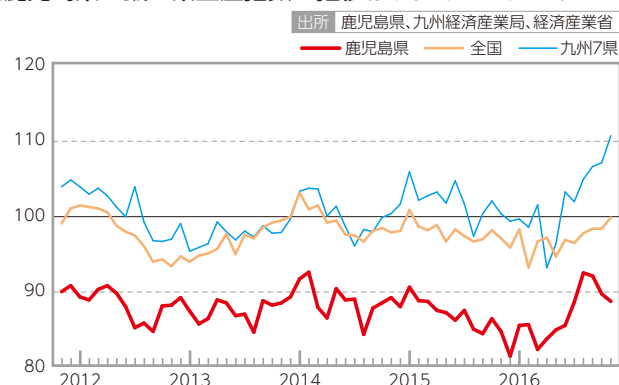
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.7と前月比1.1%低下しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、はん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

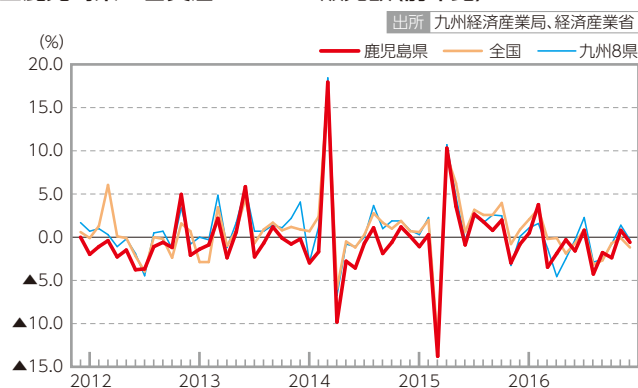


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%減の181億円となりました。

衣料品に動きがみられたものの、主力の飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





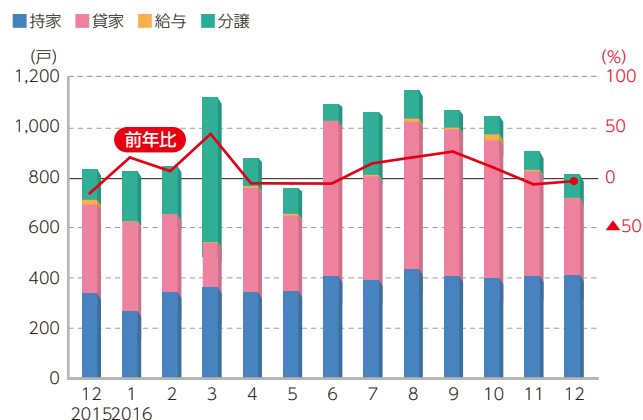
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.5%減の816戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



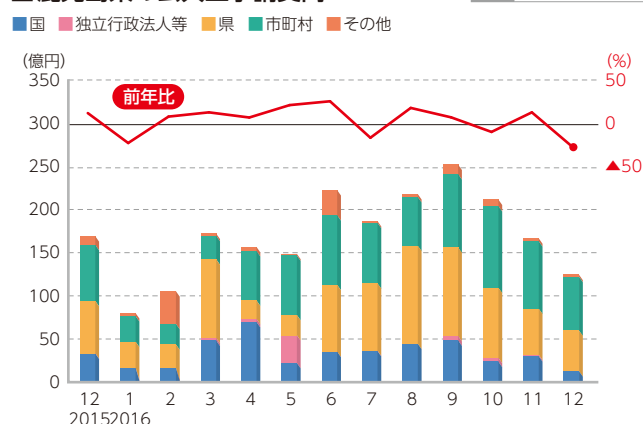
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.2%減の689件、金額が同26.4%減の125億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比57.1%減の3件、負債総額は同96.1%減の約9千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

